



学校教育目標

もとめる子 思いやる子 やりぬく子 きたえる子

第 2 号

岩見沢市立北村小学校
令和 5 年 4 月 26 日 発行

学校だより

もうすぐ 1 か月

校長 角 銅 隆

新年度が始まり 3 週間が過ぎようとしています。朝、玄関先で子供たちを出迎えていると、「おはようございます！」と元気な挨拶が響いてきます。素晴らしいと思うのは、挨拶を交わすときに、みんな私と目を合わせてくれることです。ご家庭でのしつけが行き届いているのでしょうか。挨拶を交わすことで気分がよくなると言いますが、毎日子供たちからエネルギーをもらっているようなものです。

先日、登校時刻に Jアラートがなった時には、先生方が迅速に対処してくれて、児童全員を体育館に避難させることが出来ました。次々と登校してくる子供たちには、玄関先で「Jアラートで警報が鳴ったので、このまま体育館に避難しましょう」と伝え、素早く体育館に避難する姿が見られました。バスなどで集団でやってくる子供たちの中には、低学年の子と手をつないで誘導するお兄さんお姉さんの姿も見られ、非常事態でも落ち着いて行動が出来ることに感心しました。朝から物騒な出来事ではありましたが、先生方や子供たちの冷静な対処を目の当たりにして、安心感を抱いたところです。

さて、今年度から、学校でもマスクの着脱が個人判断に任されるようになり、場面によっては外す子の姿が見られるようになりました。GW明けには学校の感染対策も、引き続き緩和されることが予想されます。ただし、感染症自体は無くなりませんので、弱毒化が進んでいるとはいえ一定の感染対策が継続になろうと考えています。コロナ前の生活を切望する身としては、それがもどかしく感じるところです。

というのも、今の小学生は、6年生でも人生の4分の1をマスク生活で過ごしている状況があるからです。今年の新入生に至っては、すでに人生の半分がコロナ禍であり、コロナ前の状況を思い出せない子供たちも増えていることと思います。大人以上に子供たちは、今の不自由な生活が当たり前の日常になってしまっています。コロナ禍の収束が予想できる今、子供たちに以前の自由な生活を取り戻すのも、私たち大人の責任であると私は考えています。しかし、無秩序に対策を手放すことはできません。それぞれが、できるところで、できる範囲でコロナ禍を払拭していくことが求められているのではないのでしょうか。ゴールはまだまだ先ですが、今年度の学校生活がコロナ禍の終息のスタート地点に立つ、転換点となって欲しいと心から願っています。

19日には、前期児童会役員任命式を行いました。校長の話で、「貢献」の意味を子供たちに問うと、4人の子供たちが手を挙げ、2人の子に発表をしてもらいました。「貢献」の意味を知っていることもすごいのですが、3年生以上が集まった体育館で挙手し発表できる気持ちの強さは、本当に素晴らしいと思いました。



令和5年度入学式 ～9名が入学しました～



4月6日(木)に入学式が行われました。今年度の新入学生は9名が入学し、全校児童73名で新学期がスタートしました。

来賓をお招きし、新入学児童の保護者と教職員で、新1年生の入学をお祝いしました。

上級生が施した会場や校内の華やかな装飾が、穏やかな日差しの差し込む体育館で、歓迎の雰囲気をつくってくれていました。

北村小・中学校PTAが発足です

4月17日(月)に、はじめての北村小・中学校合同のPTA総会が開催されました。北村小・中学校PTAの会則、令和5年度の活動方針と事業計画、令和5年度の会計予算が承認されました。そして、新体制が発足しています

役職	氏名	所属など
会長	森山正宏	中2
副会長	柴田圭介	中1
副会長	佐川智子	小6
副会長	細谷健司	小5
事務局長	斎藤基	北村小教頭
事務局次長	佐々謙彰	北村中教頭
会計	上原耕平	北村小事務職員
会計	笹原隆平	北村中事務職員
監査	西川吉春	中3
監査	吉田美帆	小4
参与	菊地佳子	北村中校長
参与	角銅隆	北村小校長

役職	氏名	所属など	
学年部員 (学級代表)	川崎芽美	中3	
	高橋尚子	中2	
	高橋香織	中1	
	内田明日架	小6	
	平祥江	小5	
	木川聡美	小4	
	馬狩まどか	小3・小2	
	石澤ひとみ	小1	
	事業部員	鎌田ルナ	中3
		荘司香寿美	中2
戸田みゆき		中1	
田邊真希子		小6	
佐々木幸恵		小5	
神原夏樹		小4	
阿部恭美		小3・小2	
澤田奈菜		小1	

PTA会員数の減少が進む中で、持続性と継続性をもった組織になることを考慮して、役員選出を見直したり、活動をコンパクトに

することなどを盛り込んでの船出となりました。活動方針は『子どもたちの健全な育成を願い、北村小・中学校教育への理解を深め、会員相互の教養向上に努めると共に教育環境の整備充実に協力する』です。前例があまりないものなので、これから小中合同の良さを模索しながら、よりよい活動や取り組みを築いて、現在とこれからの児童生徒・北村の地域のために進めていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

写真の掲載・提供について

学校で撮影した写真は、学級・学年だより、学校だよりなどに掲載することがあります。また、市の広報や給食センターだよりに提供することもあります。掲載・提供する場合は、個人が特定されないように配慮致します。ご了承下さい。掲載・提供について、ご要望等があれば、学校にご連絡下さい。

自転車通学がはじまりました

4月12日(水)から今シーズンの自転車での通学を開始しています。学校で自転車の乗り方指導は行っていますが、学校と家庭が一体となつての指導が効果的です。子どもが心のブレーキをかけて安全な自転車通学ができるよう、共に声掛けを続けましょう。また、自転車のタイヤやブレーキなどの安全点検は定期的に行うようお願いいたします。

5月には青空教室での指導も予定しています。



学習指導員が4月から7月まで入ります

4月20日から、昨年に引き続いて学習指導員に横山麻由子先生が入っています。期間は7月上旬までです。TT指導や習熟度別学習を行う教員のサポートなど、教員が行う業務の支援のうち、児童と直接関わることを行います。

各学級の授業に入ります。どうぞよろしくお願いいたします。



北海道子ども支援センターの相談窓口

日頃から子どもたちに寄り添い、悩みを抱える子どもの心のケアに努めているところですが、ゴールデンウィーク等の連休や長期休業明けに不登校になる児童生徒が増える傾向にあることから、この時期にあらかじめ児童生徒が相談できる窓口をお知らせして、児童生徒の心のケアに万全を期したいと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

こ そうだんしえん
子ども相談支援センター
そくだんまどぐち し
相談窓口のお知らせ

- がっこう い い
・学校に行きたいのに行けない…
- いや おも
・嫌な思いをしている…
- だれ き
・誰かに聞いてほしい…

そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談
☎ 0120-3882-56
おりよう まいにち しかんたいおう
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談
Sodan-center@hokkaido-c.ed.jp
いそ ばあい てんわそくだん りよう
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

